



キリスト教神学  
第7章 ポストモダンと神学

改訂版『基督教教理入門』第三章

一宮基督教研究所  
安黒務

# 「キリスト教神学」 概略



1. 神を研究すること
2. 神を知ること
3. 神はどのような方か
4. 神は何をなされるか
5. 人間
6. 罪
7. キリストの人格
8. キリストのみわざ
9. 聖霊
10. 救い
11. 教会
12. 終末

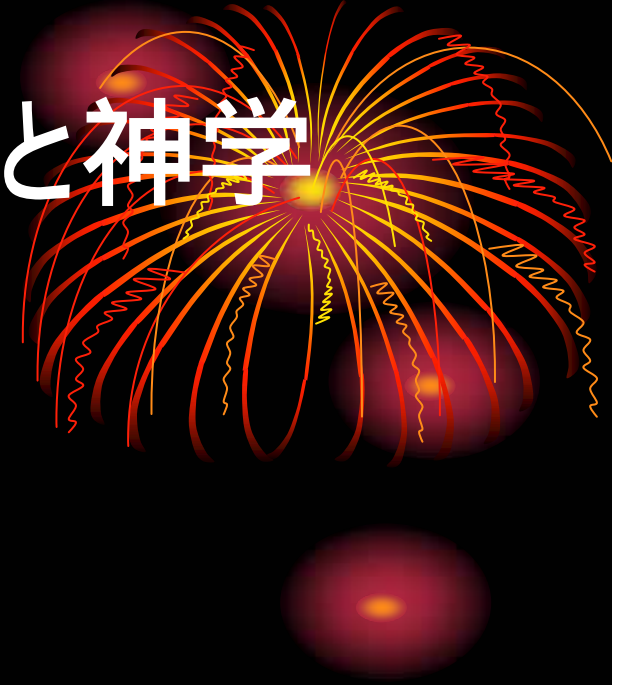
# 第1部 神を研究すること 概略



1. 神学とは何か
  2. 神学と哲学
  3. 神学の方法
  4. 神学と聖書の批評的研究
  5. キリスト教のメッセージの今日化
  6. 神学とその言語
  7. **ポストモダンと神学**
1. 神についての研究
  2. キリスト教のメッセージの今日化
  3. **ポストモダンと神学**

# 第7章 ポストモダンと神学

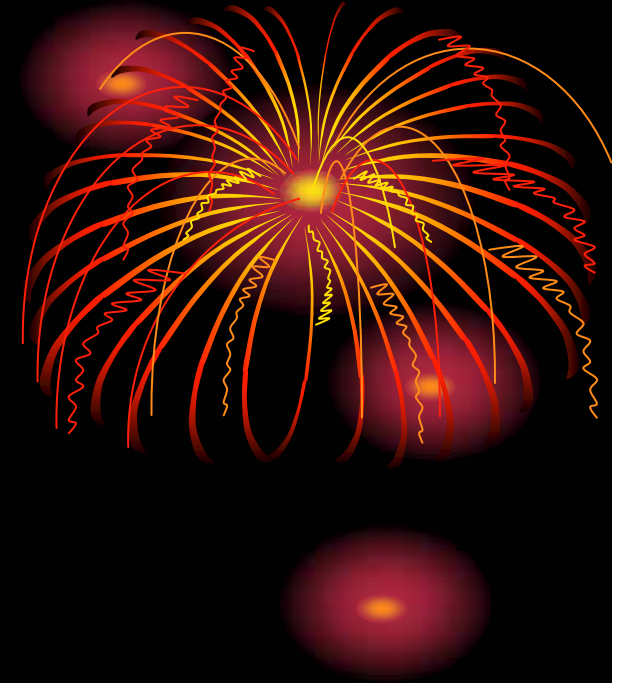
## 概略



1. ポストモダニズムを定義する
  1. プレモダニズム
  2. モダニズム
  3. モダニズムに対する不満
  4. 急進的ポストモダニズム
2. ポストモダン時代に神学すること
  1. 急進的ポストモダニズムに対する批判
  2. 建設的なポストモダン神学の諸原理

# 序

1. 本章の目的
2. 本章の概要
3. 研究課題



# 第1節 ポストモダニズムを定義する

## 序 - 1



- 神学において
- どの程度ポストモダンの？
- モダン、コンテンプラリーの意味

# 第1節 ポストモダニズムを定義する

## 序 - 2

1. 近年 - 「モダン」という言葉の意味 - 変化
2. トーマス・オーデンの定義

# 第1節 ポストモダニズムを定義する プレモダニズム



1. 宇宙は合理的なものである
2. 目的論的
3. 歴史も秩序立ったパターンに
4. 形而上学的概念・認識的概念が関係していた



# 第1節 ポストモダニズムを定義する モダニズム



1. アプローチの一致点と相違点
2. 近代思想 - 合理性・確実性の強調
3. インマヌエル・カント
4. ベーコンの思想・ニュートンの思想
5. ランドル『近代知性の形成過程』
6. あらゆる事柄を覆い尽くす説明を探求

# 第1節 ポストモダニズムを定義する

## モダニズムに対する不満

- アレン: モダン全体の崩壊の四領域
  1. 「自己充足的な宇宙」の問題
  2. 道徳と社会の基盤を見出すことに失敗
  3. 進歩への楽観主義の喪失
  4. 知識は中立的なもの

# 第1節 ポストモダニズムを定義する

## 急進的ポストモダニズム

- 合理性の基本事項のいくつかを拒否しつつ、さらに急進的に
  1. 「脱構築」
  2. ネオ・プラグマティズム
  3. 新しい歴史主義
  4. モダニティの極端な拡張

## 第2節 ポストモダン時代に神学すること 序



1. ポストモダン時代への移行の事実
2. 真剣にポストモダンの見方に備える
3. ポストモダンの精神構造

## 第2節 ポストモダン時代に神学すること 急進的ポストモダニズムに対する批判-a

1. 極端なポストモダニズムの信念には抵抗
2. 中心的問題のひとつ - 一貫性をもって主張を維持することの難しさ
3. 脱構築を唱導しつつ、脱構築主義者であることは難しい

## 第2節 ポストモダン時代に神学すること 急進的ポストモダニズムに対する批判-b

- 4 . デリダのサールへのレスポンス
- 5 . 合理主義が制限したので、ポストモダン  
は合理主義を拒否
- 6 . ポストモダン神学のための洞察

## 第2節 ポストモダン時代に神学すること 建設的なポストモダン神学の諸原理 - a

1. 五人の目の見えない人たちと象
2. 相対主義、多元主義、主観主義
3. 外見上の主観性を扱う一つの試み
4. ある程度の謙遜が神学を保持する

## 第2節 ポストモダン時代に神学すること 建設的なポストモダン神学の諸原理 - b

- 5 . 福音の文化脈化にかかわる
- 6 . 共同体の訴え - 客観性を保証しない
- 7 . 神学が未信者に提示される